

# いのちを守る福祉・ 防災都市東京へ! 都政に憲法を!

# 都民がつくる革新都政

2016年7月15日

# 革新都政をつくる会 烏越俊太郎氏を推薦



鳥越都知事候補第一声（7月14日新宿駅東南口）

略歴：ジャーナリスト 烏越俊太郎

1940年福岡県生まれ、京都大学文学部卒業。  
毎日新聞記者からサンデー毎日編集長を経て、「ザ・スクープ」「スーパー・モーニング」等に出演。  
2001年日本記者クラブ賞を受賞。  
2005年に大腸ガンを告白し、肺や肝臓への転移が見つかるも、手術等の治療・療養で完治。  
明治大学社会学部教授を歴任。

革新都政をつくる会は7月12日、臨時代表世話人会議を開催し、東京都知事選挙（7月14日告示、7月31日投開票）に4野党の総候補者として立候補を表明された鳥越俊太郎氏の推薦を決定しました。鳥越俊太郎氏はテレビのニュースキャスターとして知られるジャーナリストで、12日の立候補表明に対して、民進、

共産・社民・生活の4野党が並んで支持を表明したものです。これを受けて「会」は、7月13日午後6時半からエデュカス会議で団体地域代表者会議を開催し、4野党と市民の共同の力で東京において、100名の参加者で団体地域代表者会議を開催し、4野党と市民の共同の力をめざし、鳥越俊太郎都知事実現に全力をつくす決意を確認しました。

いました。会議の途中、この件について、知事選挙に立候補を表明して、た宇都宮健児氏が、「都民に優しい都政に変える千載一隅のチャンス」のなか、「大局的な考え方と深い感動に包まれました。

**都政を都民にとりもどさう**  
**4 野党と市民が力をあわせて**

## 直ちに選挙体制の確立を 団体地域代表者会議



## 団体地域代表者会議で訴える 新婦人都本部のみなさん

革新都政をつくる会 主催

17・19 火

# 緊急総決起集会

訴え

## 鳥越俊太郎都知事候補

あいさつ

日本共産党参議院議員

小池 晃

報告

革新都政をつくる会事務局長

中山 伸

○ 各分野からの発言

舛添疑惑徹底糾明  
都民参加でクリーンな都政を

憲法をまもる  
都民が主人公の都政を

若者に未来を  
貧困と格差のない東京を

もっと保育園を  
安心して子育てできる東京を

介護 医療 住まい  
くらし第一の都政を

防災 脱原発  
安全な東京を

台東区役所 3-36-6 (都門から5分)

会場：浅草公会堂ホール

都営浅草線・監雀駅（浅草観）から7分  
東武スカイツリーライン（浅草駅）から7分

日時

7月19日(火)

午後5:30開場

午後6:00開会

続いて、東京自治労連、三多摩連絡会、障都連、葛飾の会、都教組、新婦人都本部の各団体地域の代表から、都知事選挙に取り組む決意が表明されました。集会は、選挙戦必勝に向け直ちに体制確立をすすめる行動提起を全参加者で確認し、長谷川代表世話人（東商連）の団結がんばろう宣言会しました。

人（共産党東京都委員会）から「鳥越俊太郎氏擁立の経過」について、氏家事務局員から「宇都宮健児さんの立候補取り下げ経過」について報告を受けていた。

\* 青い空 \*  
か希望があふれてくる、という  
かそんな出来事がつづけざまの  
それもごく短い間に起きたうえ  
で迎えた選挙というのは、  
ひとつこうござらう。

